

2 守山区・小幡地域における支え合い事業

(守山区・小幡地域会議の1年間の取り組み、成果とこれからの課題)

(1) 対象地域

主な対象地域はコープ小幡店がある甘軒家小学校区を中心としたその周辺の中学校区内です。甘軒家学区は、0～14歳14%、65歳以上21%の人口構成比であり、大規模集合住宅と旧来からの住宅の混在地域です。

その周辺には守山東中学校区(約10500世帯)、守山中学校区(約12400世帯)、守山西中学校区(約12700世帯)を主な対象地域とし、3中学校区で守山区68000世帯の半分を占めています。

(2) 守山区・小幡地域の目標

地域の様々な組織がつながることで、新たな相談を解決する生活福祉力が生みだされ、安心した街づくりが広がっていくことをめざします。

- ① サロンやいっぶく茶屋のような気軽に相談できる場を広げ、孤立しかねない人や外出困難な方への見守りの場づくりをめざします。
- ② 見守り会員活動など住民主体のたすけ合いとそれを支える生活支援活動との連携をつくり、担い手の活躍の場づくりをめざします。
- ③ 様々な活動グループ、事業組織の横のつながりをつくることにより地域の問題・課題解決力を高める場づくりをめざします。



(3) 守山区・小幡地域の特徴

地域の特徴 ―地域会議での報告から―

1) 今日的な世帯の変化・特徴

- ① 独居世帯や老々世帯、未婚男性の親の介護世帯が増えてきている
- ② 独居世帯が多いが町内会もない大規模集合住宅
- ③ 近所関係が見えない
- ④ 情報が見えない

2) 住民の潜在的ニーズ・行動の特徴

多くの人がお手伝いしたいと思っている…課題や抱負
＜場づくりをすすめたい＞

- …あちこちにサロンも欲しい、幅広い方に参加してもらえるようにしたい。
- …閉じこもりをなくす横のつながり、集まれる場づくりをめざしている、

＜担い手づくりをすすめたい＞

…お手伝いしてもいいわという人たちの登録(マップ)を広げていければと思う。

＜つながりづくりをすすめたい＞

…配食ニーズが増えている、つながりを広げる中で応えていきたい。

3) この間の地域活動の特徴・いくつか

- ① 気軽に相談できる場・いっぷく茶屋
- ② 多くのボランティアとつながる守山区社会福祉協議会の地域福祉活動
- ③ 地域福祉に関わる社会資源が数多く存在する地域・守山区

(4) 守山区・小幡地域の取り組み経過

① 地域会議の開催経過

第1回	6月14日 AM10～12	事例報告	いっぷく茶屋の取り組み紹介、活動から見える地域の具体的課題を報告する (民生委員・いっぷく茶屋に関わっている皆さん)
	コープ小幡店 会議室	話し合い	* 地域の状況と課題認識の交流 * いっぷく茶屋活動の地域への広がりづくり検討
第2回	9月6日 AM10～12	事例報告	守山の配食ボラ・ふれあいサロンなどの現状を報告し、活動を通じて見える 地域の多様なニーズに対し課題を報告 (守山区社協)
	コープ小幡店 会議室	話し合い	* サロンやいっぷく活動、介護事業などから相談連携の試行検討 * 小幡地域の見守り会員(仮称)/生活支援マップづくりの検討
第3回	12月6日 AM10～12	事例報告	事例を通じて地域の生活支援力の現状や課題を報告する (守山区西部い きいき支援センター)
	コープ小幡店 会議室	話し合い	* 「おばた見守りそくしん隊」の見守りネットワークづくり * 「買物ふれあいサービス」「ふれあいサロン」などの場づくり
第4回	2月28日 AM10～12	事例報告	参加組織のこの間の活動の状況と地域の課題交流
	コープ小幡店 会議室	話し合い	* 地域会議のこの間の活動のまとめとこれから * 地域における支え合い事業報告書の作成

② 地域会議の話し合いから見えてきたこと

ア 気軽に話ができる場を広げていくこと、孤立しかねない人や外出困難な方への見守りの場を広げていくことは地域の緊要の課題である。

イ 住民がおたがいに関心を持ち、たすけあっていく地域づくりがあらためて問われており、それを支える、困りごと相談の場と解決につなげる生活支援組織のネットワークづくりが求められている。

ウ 地域の様々な活動、事業組織が「一緒にテーブルについて地域のことを話す場」は様々な発想・解決力が生まれてくる。

エ 地域のニーズ、担い手、資源(事業・活動組織や物的資源など)は数多くあり、それを「つなげる人・組織・仕組み」が最も重要な課題である。

オ 住民主体の支え合う地域づくりに、「協同の理念」の持つ力・コブ あいちの役割発揮が活かされる。

(5) 地域会議の活動の成果と課題

① 地域会議の活動の成果と今後の課題

ア 活動の成果

- (ア) お互いに顔の見える関係がつけられた、今後の連携のベース
- (イ) 様々な側面から一つの課題を把握することによる組織の枠を超えた解決力が実現
- (ウ) 地域会議開催による機動性に厚みを増したいっぷく茶屋活動
- (エ) 地域会議の出会いから見守りそくしん隊守山の発足
- (オ) ぐらしのサポート早見表や見守りマップなど生活支援情報の提供
- (カ) 連携することの可能性・必要性の確認と地域会議の継続

イ 今後の課題

- (ア) 地域会議の継承として「守山区小幡地域会議(仮称)」開催
- (イ) サロンやいっぷく茶屋/配食や買物支援/マップ等の見守りの広がり
- (ウ) 共同購入やお店資源を活かした地域福祉活動との連携

② 先進的活動事例(可能性・発展性として大切にしたいこと)

ア 「いっぷく茶屋」と地域会議---更なる可能性へステップアップ

- (ア) いっぷく茶屋の活動から見えてきたこと、今後の課題
 - いっぷく茶屋にこられる人同士の絆、様々な組織グループのお手伝い同士の絆、お店の職員や保険所などとの絆が信頼を深め、信頼が参加を呼ぶという関係がつけられている。
 - 専門家の顔が見えてきたこと、新たな生活支援組織とのつながりが見えてきたことで、相談の対応に幅と迅速性、確実性ができ一層の安心がつけられている。
 - いっぷく茶屋に「出てこられない方」へのお役立ちができないか、外に出て行く(出前いっぷく茶屋)とか情報提供でつなげていくことができないかなど、これからの挑戦課題として考えている。
- (イ) 機動性に厚みを増したいっぷく茶屋活動
 - 週ごとに分担している専門組織が、地域会議に一堂に集まり、地域のぐらし・一つ一つの事例をもとに横の情報交換を行った。
 - 地域会議の開催によりひとつ一つの課題の把握と対応が総合的になり、いっぷく茶屋の活動がより促進される関係となっている。

イ 「見守りそくしん隊守山」と地域会議---新しい活動の広がり

(7) 見守りそくしん隊守山の活動から見えてきたことと今後の課題

- 様々な思い・力を持った人が地域の中には多くおり、なにかしたい、してもよいと考えている。
- つなぐ中で新たな活動が生まれてくるが、人をつなぎあうコーディネーターの発掘がどこも共通する課題である。
- 情報を伝え合うことによるつながりづくりをどのように組み立てるか、個人情報の取り扱いも含めて解決すべき課題である。

(4) 地域会議から見えてきた地域のくらしと必要な生活支援ニーズ

- 民生委員はじめ様々な参加者からの地域の状況交流のなかで「ちょっとしたことに気づく関係」「たすけを求め・発信する関係」「お手伝いをつなぐ関係」の必要性が見えてきた。
- 同じ思いの参加者が集まり、見守りそくしん隊守山が発足した。

ウ 「守山区・小幡地域会議」---これからの地域の連携の展望

(7) 地域会議への参加

コプ 小幡店組合員グループ/いっぷく茶屋民生グループ/守山区社会福祉協議会/守山区西部いきいき支援センター/北医療生協守山南支部/いきいきワーカーズ おばた/(株)ティア/コフ福祉サービス名東/コプ 小幡店/コプ あいち理事会/表現舎/コプ くらしのたすけあいの会/生活支援ネットちくさ/コプ 相談センター/守山見守りそくしん隊/コプ 守山センター

(4) 地域会議開催のまとめ

- 顔の見える関係がつけられることにより、地域の活動・事業組織が見え、要望・課題に相談対応できる距離と速度が縮まる
- 協働・協同の考え方による役割発揮と新しいつながりづくりによる新しい問題解決の可能性がつけられる
- 子育てや見守りなど、それぞれの組織が行なっている様々な地域福祉活動を、緩やかに情報交換する場を持つことの有効性が確認され、その継続が課題となる。

(4) 今後の計画

「守山区小幡地域会議（仮称）」として引き続き開催を目指す、そのための緩やかな活動計画・世話役（団体）を決めていく。